

令和4年度 決算報告

令和4年度の一般会計と特別会計の決算が、令和5年12月12日から開かれた第4回定例議会で認定されました。

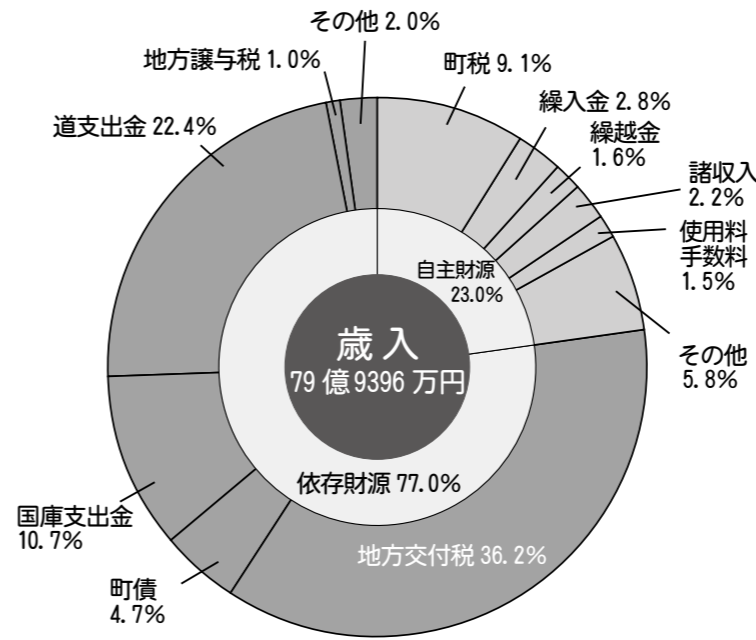
ここでは、まちの家計簿である令和4年度決算状況についてお知らせします。

財政の健全化を判断する各財政指標においては、地方交付税などの依存財源の増減により左右される状況にありますが、継続して効率的な財政運営を執り進めて

きた結果、いずれの財政指標も健全化を示しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による電力・ガス・食料品などの物価高騰に対応するため給付金事業や感染拡大防止に向けた事業を実施したほか、防災対策の取り組みとして昨年に引き続き河川整備などの事業を行いました。

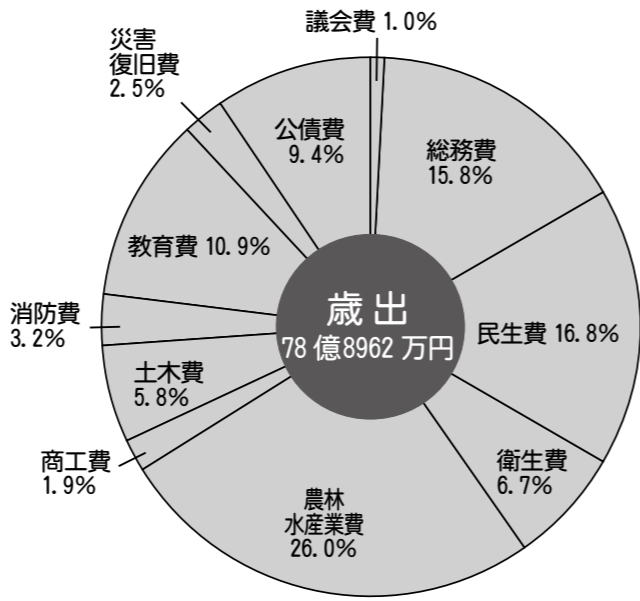
項目別内訳 (各項目の%は構成比)



歳入の内訳			
区分	決算額	前年比増減率	
自主財源	町税	7億2837万円	0.0
	繰入金	2億1983万円	3.8
	繰越金	1億2333万円	39.2
	諸収入	1億7607万円	△21.4
	使用料手数料	1億1593万円	2.9
	その他	4億6013万円	9.3
	小計	18億2366万円	2.1
	合計	79億9396万円	25.9
依存財源	地方交付税	28億9669万円	△2.0
	町債	3億7847万円	△20.0
	国庫支出金	8億5503万円	40.5
	道支出金	17億9356万円	547.0
	地方譲与税	8182万円	△0.5
	その他	1億6473万円	△1.1
	小計	61億7030万円	35.2

町税の内訳		
税目	決算額	前年比増減率
個人町民税	2億8219万円	△5.7
法人町民税	5331万円	△3.1
固定資産税	3億2875万円	4.4
軽自動車税	1889万円	7.8
町たばこ税	3396万円	5.3
入湯税	1127万円	20.8
合計	7億2837万円	0.0

一般会計



歳出の内訳		
区分	決算額	前年比増減率
議会費	7833万円	0.4
総務費	12億4904万円	0.8
民生費	13億2432万円	7.0
衛生費	5億2669万円	7.0
農林水産業費	20億5081万円	293.9
商工費	1億4601万円	△57.7
土木費	4億6220万円	3.2
消防費	2億5083万円	5.9
教育費	8億6047万円	0.9
災害復旧費	2億112万円	3124.7
公債費	7億3980万円	△3.7
合計	78億8962万円	26.7

特別会計決算		
区分		決算額
簡易水道事業特別会計	歳入	2億6335万円
	歳出	2億6007万円
下水道事業特別会計	歳入	2億1085万円
	歳出	2億992万円
国民健康保険特別会計	歳入	7億7748万円
	歳出	7億7406万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	8496万円
	歳出	8460万円
介護サービス特別会計	歳入	2億9966万円
	歳出	2億9421万円
国民健康保険診療事業特別会計	歳入	5億3482万円
	歳出	4億6173万円
合計	歳入	21億7112万円
	歳出	20億8459万円
	差引繰越額	8653万円

基金残高と地方債残高	
○基金残高 (貯金)	令和4年度決算における一般会計の基金残高は23億8989万円。 令和3年度の決算残高と比べて3億113万円増加となりました。令和4年度については、交付税の増額などにより、昨年度と比べ財政調整基金の取り崩しが減少しています。 町民1人当たりの貯金額46万1千円 (令和5年3月末の人口で算出)
○地方債残高 (借金)	令和4年度決算における一般会計地方債(元金)残高は53億6388万円。令和3年度の決算残高と比べて3億4420万円減少しました。(内実質負担額13億7098万円) 町民1人当たりの借金額103万4千円(実質借金額26万4千円) (令和5年3月末の人口で算出)

一般会計 各財政指標の推移							
区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度管内平均	4年度全道町村平均
経常収支比率	92.7	89.3	89.8	84.3	84.8	88.4	85.1
実質公債費比率	7.3	7.1	7.5	7.7	8.0	9.7	8.8
将来負担比率	7.9	6.0	6.9	-	-	20.2	15.8

経常収支比率について、令和4年度決算では、町税や普通交付税などの経常一般財源収入は36億2967万円、経常一般財源支出は30億7624万円となり、経常収支比率は84.8% (収入から臨時財政対策債を除いた収支比率は85.5%) となります。経常収支比率を前年と比較すると0.5ポ

イントの減となりました。この状況を家計に置き換えると、給料や事業収入で得た家計収入のうち、住宅ローン、教育費、光熱水費など、既に決まっている支出が約8割あり、残りの約2割が手元に残り自由に使えるお金ということになります。

歳入について

歳入の決算額は、79億9396万円、前年度決算額と比較して16億4445万円、25.9%の増となりました。町税の収納率は、調定額に対して99.5% (前年度99.4%) で、前年度と比較し、0.1%の増となりました。また、町税の収入未済額は3482万円、不能欠損処分として整理したものは44万円、これら収入未済額の合計額は3526万円の決算となり、前年度と比較して667万円、16.1%減少しました。

歳出について

歳出の決算額は、78億8962万円、前年度決算額と比較して16億6344万円、26.7%の増となりました。執行率では、予算現額に対して91.8% (前年度77.9%) で、7億249万円の執行残が生じていますが、この額には、翌年度への繰越明許費とした事業の繰越額6億2321万円を含んでおり、これを除いた執行残は、7928万円となります。